

激特事業による足羽川の整備 について

平成20年10月18日
福井県河川課
課長 北嶋 雅之

1

◇改修区間（日野川合流点～板垣橋）

- 堤防決壊部分の復旧（良質土による破堤部の復旧）
- 堤防強化・特殊堤強化（堤防点検結果から必要な堤防を強化）
- 河床掘削（洪水時の水位低下を図るための川底の掘削）
- 線形改良（蛇行部の線形を改良し流れやすくする）
- 橋梁架替（河床掘削に伴い、基礎が不安定になる橋梁の架替）

新明里橋
幸橋
木田橋
板垣橋

激特事業改修区間
L=6.0km

破堤箇所

2

◇破堤部復旧

【春日地区の状況】

平成16年7月 被害

本復旧完成

応急復旧

◇堤防強化

【勝見地区の状況】

平成18年7月 ドレーン工(完成)

平成18年5月 高水護岸工(工事中)

平成18年7月 天端舗装(完成)

◇特殊堤強化

【豊島地区】

【平成16年7月 着工前】

【平成20年7月 完成】

5

◇河床掘削・低水護岸

平成18年7月 工事中状況

花月橋上下流付近

【掘削断面図】

平均約2m河床を掘り下げる

◇河川の能力向上（断面の拡大）

河床掘削(2m)による能力の向上



【豪雨前】

【改修後】

【幸橋から桜橋を望む】

7

◇河川の能力向上（断面の拡大）

河床掘削(2m)による河積拡大



【花月橋から下流を望む】

8

◇河川の能力向上（蛇行部の緩和）

流れやすくするために、カーブを緩やかに



【豪雨前】

【改修後】

【足羽川 木田橋上流】

9

◇橋梁の架け替え

橋脚数を減らす5基→2基（泉橋の事例）

【着工前】

【完成後】



10

◇橋梁の架け替え

橋脚数を減らす7基→2基（木田橋の事例）



【着工前】

【完成後】

11

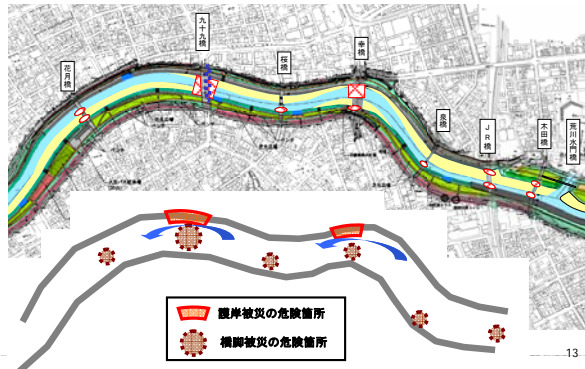
◇橋梁の架け替え

【平成19年10月供用開始、平成21年5月完成予定】



12

◇床固工の必要性（護岸や橋脚の保護）

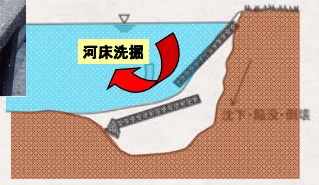


◇床固工の必要性（護岸の保護）

【河床の洗掘に対する護岸の保護】



洪水により、川底がえぐられるように削られて、護岸が根本から破壊する



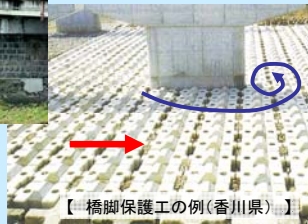
護岸基礎部の洗掘被災状況
(新潟県糸魚川市 鉅川)
平成7年7月洪水「梅雨前線」

◇床固工の必要性（橋脚の保護）

【橋脚基礎の洗掘に対する保護】

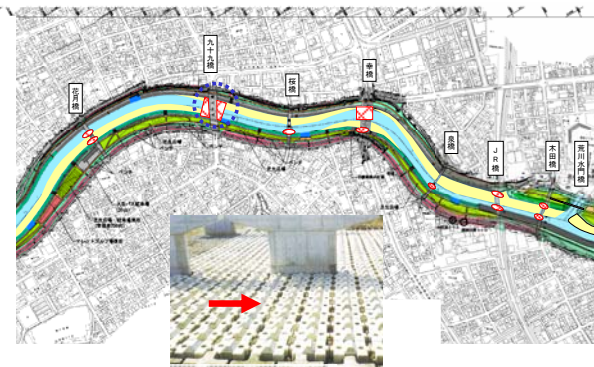


洪水により、橋脚の周りに渦ができその渦により川底が削りとられる



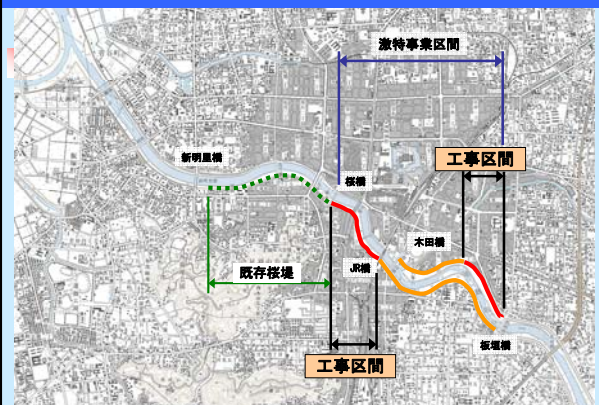
橋脚の洗掘による被災状況
(神奈川県小田原市 酒匂川)
平成19年台風9号

◇床固工の必要性（護岸や橋脚の保護）



堤防補強と
桜づつみの保全について

◇河川環境への配慮事項（桜づつみの保全）



◇堤防補強と桜の伐採について

堤防強化の必要性

1

増水が長時間継続くと、河川の水が堤防にしみ込む。

2

住宅側に水がしみ出て、もろくなった堤防がくずれはじめる。

3

堤防を押し潰して、水が一気に住宅側に流れ出る。

堤防補強断面

プロット積機壁 2,000 トレーン工

定規断面 4,000 500 3,000 500

堤防強化工事（春日地区）

◇堤防上の桜の影響について

堤防上の桜が及ぼす悪影響

- 倒木による堤防の損傷
- 水の浸透による堤防の脆弱化
- 流木衝突による堤防等の損傷

堤防内に根が侵入している箇所（青丸）では、根が侵入していない箇所（赤丸）に比べて、雨水や河川水の影響を受けやすく、脆弱化が顕著化しやすい。

堤防の脆弱化への侵入状況

堤防に倒れた桜

堤防に倒れた桜

◇ワークショップ

◇フォーラム

現場視察

特別講演

意見交換会

意見交換

21

◇桜づつみ保全計画の検討経緯について

足羽川河川環境整備検討委員会

足羽川桜づつみ協議会

「足羽川桜づつみ協議会」による実施計画の検討

- 施設計画
- 植栽計画
- 維持管理、撤去桜有効利用

◇桜づつみの工事実施状況

【幸橋～泉橋】
(住宅側)

平成20年6月 ドレーン工(完成)

平成20年6月 階段工(完成)

平成20年6月 天端舗装(完成)